

平成28年度の当初予算を議決！

総額 88億3,440万8千円（前年比3.5%増）

一般会計 54億 587万 1千円（前年比6.3%増）

特別会計 34億 2,853万 5千円（前年比0.7%増）

（前年比については、平成28年度当初予算と平成27年度6月補正後予算額の数値を比較したものです。）

議会の視点・論点

第1回定例会での主な質疑の要約

Q 防犯灯についてはLEDへの交換を進めているがその状況について伺いたい。

A 平成27年までで221基、次年度は180基のLEDへの交換を予定。（まちづくり推進課）

Q あつたからんどの時間延長について調査を行ったが、ホテルに委託するという考えはないのか。

A 管理の方法も含めて、新年度には可能性も含めて検討したいと考えている。（副町長）

Q ふるさと納税の本年の件数と金額について伺いたい。

A 今回の補正予算を含めて70件で460万円となっている。（総務財政課）

Q 人事評価が4月1日より施行されるが今までは採用していなかったのか。

A 今までこの制度は無く、この4月1日より国の規定に基づいて行うこととなった。（総務財政課）

Q 下水道等から出る汚泥は何処へ運搬されているのか。

A 苫小牧へ運搬処理されており、1月末現在で322.41トン運搬している。（公営施設課）

Q あつたからんどの温泉は井戸からポンプで汲み上げているが、今後その井戸の掘直しなどの計画はないのか。また、休みなく営業することで指定管理などの変更はないのか。

A 計画はないが今後検討したい。また指定管理においても交流施設という位置付けも含めて検討したい。（副町長）

Q 町の総合戦略では目標とする出生率を2.1人としているが、目標とする出生率で推移していった場合、認定こども園の定員は間に合うのか。

A 認定こども園では125人を定員としているが、現状の就学前のお子さんの数が220人程度、こども園等の利用率が50%程度となっており、今後も同じような就学前のお子さんの数や利用率で推移した場合は受入が可能と思われる。（教育委員会）

Q 渡島半島横断道路の期成会は現在どうなっているのか。

A 国道の新設予算確保が難しく、現状の道路の拡幅や改良の要望で進めている。（まちづくり推進課）

Q 住宅リフォーム助成事業で利用の回数制限を撤廃した理由は。

A 従来は一人につき1回という制限であったが、要望等も多かったことから、以前この事業で助成された方や、年間でも複数回利用できるように改正した。
(まちづくり推進課)

Q 日本ハムファイターズ応援大使補助金について、ツアーの回数と人数の対象を知らせて欲しい。

A 応援ツアーは5回(うち球団主催1回)を予定しており人数はバスの借上げとの関係があるためその中で調整していきたい。
(まちづくり推進課)

Q ピリカスキー場の3年間は大丈夫であろうと聞いていたが、マックアースリゾート北海道がクアプラザピリカの運営から撤退すると聞いたが、その事情を知りたい。

A 全国的な雪の影響、降雪量の減少によりマックアースリゾート全体が減収となり、不採算地区の整理が必要となったことから申し出があった。クアプラの今後は協議していく。
(副町長)

Q 住宅リフォームの助成について会社の社宅や寮等についても適用にならないか。

A 今後検討していきたい。
(副町長)

Q 農業センター構想についての話はどうなっているか。

A 農林業振興プロジェクトの中で話し合われているところであり、課題等を整理している状況。
(産業振興課)

Q TPPの影響は畜産と酪農が大きいと言われているが、どう考えているか。

A 国の補助メニューに乗って今までやってきた。畜産クラスター事業は今金では無理であり、今後クラスター協議会のほか、検討会を設置したなかで検討していく。
(産業振興課)

Q 奥ピリカ温泉及び山の家は平成28年度以降どういう考えを持っているのか。

A 今後については人流創生プロジェクトでアンケートを行ったり、観光資源活用プロジェクトを設置し、クアプラ含めて山の家についてもお金をかけないでどう利用できるか検討したい。
(まちづくり推進課)

Q 北部渡島・檜山の4町広域連携事業の実績について教えていただきたい。

A 医師の確保についての取り組み、既存事業の連携、教育委員会においてはミュージックサマースクール、教職員の連携等を進めてきた。新年度は新幹線開通に合わせた観光への取り組みや各町で行っている事業を配信し情報を共有し合う取り組みを行う予定。
(まちづくり推進課)

Q 人材育成まちおこし支援事業補助金について現在予定があれば伺いたい。

A この補助金は個人やグループ単位で研修やイベント事業等を行いたいという希望があれば申請いただき、上限10万円でバックアップしたいと考えている。
(まちづくり総合戦略室)

Q 新年度予算にある地域特産品開発支援事業とはどういうものか。

A 現在今金町にある特産品についての加工であったり、商品化する際の支援を行うことを目的としているもの。その他にも新年度で新規補助事業が各課で行われることから、それらは広報等でまとめてお知らせしたいと考えている。
(まちづくり総合戦略室)

Q 地域力再生プロジェクト補助事業の内容についてお知らせ願いたい。

A 商工会に対する補助金としており、平成26年度から取り組んでいるもので高等養護学校の就労業種別マニュアル、住環境における調査、就労実態調査での課題を解決する事業内容である。(まちづくり推進課)

Q 現在認定こども園に派遣している町のスタッフが定年退職になった後はどうなるのか。

A 派遣スタッフが定年退職を迎えた後は、認定こども園で自ら職員確保することで進めてきている。(教育委員会)

Q ふるさと納税の返礼品は相手の希望に沿った形でできるのか。

A 平成28年度からは、ふるさと納税を扱うホームページに参加する予算を計上しており、寄付をしていただく金額に応じて何点かから選択してもらう方式となる予定。農作物に関しては時期によるものがあるため、時期を待っての発送とするなど運営する中で対応する予定。(総務財政課)

Q 冬季の障がい者スポーツ大会の受け入れ体制についてどうなっているか。

A この大会は1日で行われる大会であり、宿泊は近隣施設を紹介し個人で予約をとっていただく予定で、これから実行委員会を立ち上げ今金らしいお迎えをしたい。(総務財政課)

Q 町民センターの備品購入の内容についてお知らせ願いたい。

A たたみの部屋で使用するテーブル20台、イス40脚と大ホールの丸テーブルを10台追加し、それにあったテーブルクロスを購入予定。(まちづくり推進課)

Q 公会計システムを導入することとなるが、現在の一般会計はどのようになるのか。

A 基本は現在の方式と変わらないが、決算において新たに企業的な会計処理で町の資産状況を表すこととなる。(総務財政課)

Q 自治会町内会の独自活動支援事業があるが、詳しくお知らせ願いたい。

A 様々な課題があると思うが、予算不足等で現有の町内会等の活動ができない場合、10万円以内を1団体1補助で支援するもの。(まちづくり推進課)

Q 街路灯の所有については町内会とあるが、事故が起こった場合はどうなるのか。

A 現在の経過について調査し、事故等が起こった場合も含めて今後について検討したい。(まちづくり推進課)

Q プラザ21の風車に鳥が止まらないようにできないものか。

A 鳥がとまらないようステンレスワイヤーを張っているが、定期的にワイヤーの緩みの点検を行いたい。(公営施設課)

Q 消防の花石分遣所に人が常駐しなくなったが、地区の安心感という観点ではどう考えているか。

A 地域も了解してのことではありますが、不安があるということであれば消防に伝え、不安を抱かせないような配慮をしたい。(副町長)